

普及活動情勢報告（平成 30 年 8 月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

ブランド米「土佐天空の郷」のPRと意見交換 ～産地情報説明会in東京～



試食用炊飯米を配布

7月15日、東京都「主婦会館プラザエフ」で(株)はくばく主催の「産地情報説明会」が開催され、「土佐天空の郷」からは生産者、本山町農業公社、普及所計4人が参加しました。会場に集まった全国の産地関係者、米屋に対して本山町農業公社は取組内容、普及所は本年の生育状況、今後の生育予測を紹介し、PRと意見交換等を行いました。

試食に訪れた米屋からは「食べて感動した。甘みがあってとてもおいしい」、「これならば確実に売れる」と高い評価を頂きました。

今後、普及所は、品質・食味向上のために栽培方法（施肥方法、収穫適期等）の確立を支援していきます。

作物も人も暑い夏を乗り切ろう！ ～米ナスの現地検討会～



暑さを避けて真剣に勉強中

7月25日、JA土佐れいほく米ナス部会は、本山町で現地検討会を開催し、11人が参加しました。

今年も猛暑で高温乾燥の状態が続いており、普及所はナスへの高温の影響や今後の管理について指導しました。参加者は、循環扇の利用や適期収穫による草勢維持、熱中症対策として適宜の休憩や早めの給水を確認しました。

普及所は、気象変動や農家の健康管理についての対策を啓発していきます。

安心・安全な農業をめざそう ～GAPの現地確認～



園芸部役員と点検項目を確認中

8月1・2日、JA土佐れいほく園芸部は全部会員約100人を巡回し、今年から取組を開始した国のガイドラインに準拠した県版GAPについて、実施状況を確認しました。

普及所は、「れいほく版ISO」で培った環境点検を進化させ、GAPの視点で点検シートを作成しました。猛暑が続くなか、食品安全や労働安全の項目では、腐敗果対策や作業者の安全について重点的に点検しました。

今後、普及所は優良事例などを広報誌「GAP通信」で紹介し、県版GAPが定着するように支援していきます。

経営管理能力の向上 ～農家個別面談の実施～



経営実績について説明

8月6日～13日にかけて、米ナス、カラーピーマン、シシトウ農家15戸を対象に、個別面談を実施しました。

普及所では、地域の園芸基幹品目生産農家の経営管理能力の向上と、目標所得達成にむけて支援しています。

面談では、栽培状況や生産経費の確認、経営実績を共有しながら、栽培上の問題点や今後の管理について指導しました。

今年は、定植直後から活着不良や病害虫の発生、異常気象などで収量への影響が心配されましたが、面談と指導を重ねるたびに改善が見られ、収穫最盛期を迎え、順調に生育しています。

栽培期間も後半になりましたが、今後も継続して巡回を行い、個別の目標所得が確保できるよう支援していきます。

町で団結して農地を守る！ ～本山町の農地保全の取組に関する説明会～



説明を聞く参加者

8月7日と13日、本山町役場で本山町の農地保全の取組に関する説明会が開催され、中山間地域等直接支払制度の集落協定代表農家など23人が参加しました。

町を一つの単位として多面的機能支払制度に取り組むことで、町全体の農地保全につなげようという構想について、農家の理解を得るため実施しました。

普及所はこれまでの経緯を説明し、本山町から事業概要、農業公社から構想を説明したところ、参加者からは「大賛成！よろしくお願いします」「本当にそんなことが可能なのか」など様々な意見が寄せられました。

普及所では今後、本山町や農業公社と連携して集落別に説明を行うなど、町全体で農地を守ることができるよう支援していきます。

地域の伝統を伝える郷土料理を堪能 ～こてこて農家レストラン～



なべ餅を作る参加者

8月11日、大豊町ふれあい総合センターで大豊町農漁村女性グループ研究会6人が「こてこて農家レストラン」を開催し、普及所は運営を支援しました。高知市を中心に8人の参加があり、大豊町の郷土料理（なべ餅、こんちん、半夏だんご等）を皆で作って食べ、大豊町の食生活やグループの活動を知っていただきました。

参加者からは「こんちんが美味しい」「今までに味わったことがない味つけ」「高知市にも情報発信してほしい」等の意見や感想が聞かれました。

今後も普及所は、地域の伝統や郷土料理を伝承していく活動を支援していきます。

夏期の栽培管理を確認しよう ～甘長トウガラシ現地検討会を開催～



ほ場で生産者と話し合い

8月16日、JA土佐れいほくと普及所は管内の甘長トウガラシ生産者全3戸を対象に、土佐町と大豊町のほ場で現地検討会を開催しました。

普及所は高温期の栽培管理、特に尻腐れ果対策としてpFメーターを用いたかん水管理を指導しました。

生産者からは果実品質や整枝、病虫害防除について質問が出され、日頃の管理で疑問に思っている点を皆で協議しました。

今後、普及所は他産地の情報なども活用しながら各生産者の技術向上を支援します。